

開講年度	令和 8 年度	開講課程	博士後期課程
授業名	医療薬学特別研究		
開講キャンパス	伏虎	教室	各研究室
科目区分	特別科目	配当年次	1～3年次
必修・選択の別	選択	単位	10単位
対象学生	—	使用言語	日本語
キーワード	(病態生理学) 粘膜免疫学、感染症、ワクチン (薬品作用学) 薬理学、生命科学 (薬剤学) 薬剤学、製剤学		
担当教員 (下線：科目責任者)	医		
	薬	(病態生理学) 教授 佐藤慎太郎、助教 民谷繁幸、助教 中村有孝 (薬品作用学) 教授 新谷紀人、講師 岩田圭子 (薬剤学) 教授 門田和紀、講師 福田達也	
授業の概要	医療薬学の各分野において博士論文作成の指導を行う。研究計画の立案方法や実験手技を修得するとともに、計画に沿って主導的にデータの収集・解析や実験を遂行する。また、研究成果を発信して社会貢献できる高度な研究能力を身につける。		
到達目標	<p>(病態生理学) 研究計画を理解し、実験スケジュールを組み立て実験を行い、データを収集、解析し、考察を行うことができる。</p> <p>(薬品作用学) 情報検索と研究課題の設定、実験計画の立案と実施、データ処理と結果の解釈、さらには研究成果の取り纏めと発表、論文の執筆まで、一連の研究活動ができる。</p> <p>(薬剤学) 薬剤学実験を行い、データを収集、解析し、考察を行うことができる。</p>		
授業計画	<p>(病態生理学) 粘膜免疫、ウイルス学に関係する研究を行う。(佐藤慎太郎／民谷繁幸／中村有孝)</p> <p>(薬品作用学) 脳やミトコンドリアをひとつの切り口とした基礎研究・応用研究を行う。研究内容に応じて実験手技、情報やデータの収集法、データ処理法、論文の執筆を指導する。(新谷紀人／岩田圭子)</p> <p>(薬剤学) アンメットメディカルニーズの高い疾患に対して、薬剤学の基礎的研究を行う。(門田和紀／福田達也)</p>		
授業の方法・形態	演習を中心とする。		

使用するメディア	パワーポイント等によるスライド資料を使用する。
成績評価の基準	研究への取組100%（研究課題の設定内容、研究の遂行状況）によりS（90点以上）、A（80～89点）、B（70～79点）、C（60～69点）、D（59点以下）の5段階で評価し、C以上を合格とする。
授業時間外の学修に関する指示	教科書・参考書が指定されている場合は予習を行うとともに、各回終了後には復習を行うこと。そのほか、各担当教員の指示に従うこと。
オフィスアワー（学生からの質問事項等への対応）	担当教員により異なるため、希望する場合はメール又は電話により予約すること。
教科書・参考書	特に指定しない。